

## 交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

**本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。**

\*各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。

*本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。*

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：ゲッティンゲン大学

留学先での所属学部・研究科：経済学部経営学科

留学先での在籍身分：Exchange student

留学期間：2016年9月-2017年8月

神戸大学での所属学部・研究科：経営学部

学年（出発時）：3回生

本報告書記入日：2017年9月19日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日：10月1日

学年終了月日：8月31日

学期：

① 10月1日～2月28日

② 4月1日～8月31日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

留学生の数が非常に多く、国際交流は十分に経験できる。数学や農学など、理系の学問を得意としている。

#### 1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

英語で、学部生向けの、経営学の授業となると非常に数が少なかった（秋学期で4つ、春学期で2つのみ）なので私は大学院の授業に参加していた。

クラスのサイズは物によって全く別で、大きく分けてレクチャーとセミナーの2種類がある。

どちらも貰える単位数は変わらないが、主にセミナーは論文か口頭試験、レクチャーは筆記試験によって締めくくられ、成績評価はヨーロッパ共通のECTS制度が採用されている。

## 1-4. 近況報告書提出後に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

ドイツ語に関しては学期が始まる前に語学コースが用意されている（有料だったため未受講）  
また、タンデムプログラムがあり、こちらの母語を教える代わりに相手の母語を学べるというようなシステムが大々的に行われており、多くの日本人学生も利用していた。

勉学面でのサポート：

勉強をサポートしてくれるバディの制度も一応存在しているが利用する人は少なかった。

精神面でのサポート：

スポーツのコースが用意されており、ジムやプールなども安く利用できる。

住居・生活面でのサポート：

寮に関しては留学前に早々に決められるので安心できた。生活に関しては、最初のウェルカムセレモニーで銀行口座の開設や保険の加入、ビザ取得のためのアポイントなどは大学側が説明、一緒に加入してくれる。

課外活動のサポート：

特になし

## 1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい                       いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

キッチンや風呂が共用のところが多。食材や調理道具、消耗品など、勝手に使われることがあるので管理には注意すべき。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学の生協が紹介してくれた東京海上日動の保険に加入した。しかし現地でも高額な保険に加入せねばならず結果的に無駄に保険料が重複してしまったので、**ドイツの国立大に留学する学生には、是非日本で保険に加入しないで置くように知らせていただきたい。（プライベートビジネススクールは日本の保険で対応できた模様）**

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

TK

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した  現地で購入した  保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた  接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。  
各部屋にLANポートがあり、自分で購入したルーターも使うことができたし、フロアごとに

大学でのPCの使用の可否： 使用できた  使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通っていません

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。  
特になし。ただ非喫煙者は喫煙者が多いので気を付けること

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。  
（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

大学側がオリエンテーションにて一斉に銀行口座の開設をサポートしてくれる。  
日本からはVISAデビットカードを持参することでいつでもATMから引き下ろすことができた。  
手数料を考えて、一度に多くおろし、ドイツ銀行に移すという作業が勧められる。

### 3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

一番は、やはりはっきり NO と言わないとならないこと。そうでないと、重要な就活の skype 面接前夜に体調不良にもかかわらずクラブに連れていかれる。またグループワークに関しても同じく、間違っていると思うことは論理的に NO と言わないと、自身の意見が反映されず成長につながらない。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

現地の街のバレーボールチームに参加し、選手登録もしたうえで大会等にも参加。また一つ、最寄りのレストランの常連になり、「いつもの」が言えるようになった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

就活のみ

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

正直、日本と大差ない安全性だった。深夜の3時に酔った若い女子学生が一人で歩いていても、まったくにも起こらない。また学生の街であり、在学生の半分が留学生だったとのことで、差別などは全く感じられなかった。

### 3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

12月、1月にロンドンへOB訪問。

4月にロンドンキャリアフォーラムに参加、内定。以上で就活終了。

## 4. 経費について

### 4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：¥100,000×2=¥200,000

住居費（月額×留学月数）：¥28,000×12か月=¥336,000

食費（月額×留学月数）：¥15,000×11か月=¥165,000

保険料：月額¥11,000×12か月=¥132,000

その他：旅費 ¥60,000

消耗品費等 ¥10,000

計： ¥903,000 円（留学期間全体の費用）

備考：・航空運賃に関しては、オープンチケットの存在を知らず、無駄に支払ってしまった。

・実際にドイツに滞在していたのは10か月半だったが、9月15日～8月3日の間の滞在だったため、一日でもその月にドイツに滞在していれば家賃と保険料を払わねばならないという決まりから12か月の計算とした。

### 4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） \_\_\_\_\_ , \_\_\_\_\_ 円/月

その他（渡航費等の支給） \_\_\_\_\_ 円

## 5. アドバイス及び感想

### 5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

特になし。

### 5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

スポーツをするのであれば、ファブリーズ。またヒートテック（極暖）

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後（ ） 点

語学力に関して、帰国後テストは特に受けていない。

キャリアパスは、留学と就活の同時並行の中でしっかり確認でき、内定した会社に変満足している。

異文化理解はもちろんできたと思うが、～人だから、という文化やステレオタイプよりも、誰だから、というパーソナリティが一番大きいのだな、と感じた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

特に大きな問題は何もなかったが、しいて言うなら日本からの荷物が一度関税で止められたこと。

また隣の部屋の友人が倒れ、救急車に同乗したこと。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

就活に関して、ヨーロッパに駐在中の OB を探していただいたり、本当に助かりました。ありがとうございます。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

是非進めたいと思います。

自分の価値観や人生観が本当に大きく変わったし、一生を通してみると本当にかげがえのない経験になると思います。

しかしもちろん日本で得られるはずだったもの（サークルの仲間との活動、普通の就活など）をすべて捨てることになるので、その覚悟を十分にすること。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・ 留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・ 留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・ 留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 4
- ・ 住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・ 全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・ 神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・ 留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

ドイツの国立大に留学する学生は、現地で保険に入ってください。二重に高額な保険を払わねばなりません。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。

（デジタル画像をお願いします。）

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

\*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料とすることに同意しますか。

はい

いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

\*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい

いいえ

---

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。原則として e-mail で提出してください。もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

[bkyomu@b.kobe-u.ac.jp](mailto:bkyomu@b.kobe-u.ac.jp)